



# 平成22年度版 北九州市の環境 概要版 目次

## 001 はじめに

- 001 北九州市の環境行政のあゆみ
- 001 持続可能な社会の実現に向けて

## 002 特集

- 002 紫川エコリバー構想の推進
- 002 北九州スマートコミュニティ創造事業
- 002 北九州市環境産業推進会議
- 003 北九州次世代エネルギーパーク
- 003 北九州エコハウス～「見て」「感じて」「学べる」体験館～
- 003 クールアース・デーの取組
- 003 アジア低炭素化センター（アジア・グリーンキャンブ）の設立

## 004 第1章 地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化

- 004 第1節 環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環
- 008 第2節 優れた環境人財の育成
- 010 第3節 環境情報の共有と発信
- 010 第4節 国際的な連携・協働の推進

## 012 第2章 地域からの地球温暖化対策の推進

- 012 第1節 北九州市環境モデル都市行動計画の推進
- 018 第2節 北九州市役所の地球温暖化対策

## 020 第3章 循環型の生活様式・産業構造への転換

- 020 第1節 ごみの減量化・資源化の推進
- 023 第2節 北九州エコタウン事業の推進

## 026 第4章 豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

- 026 第1節 豊かな自然環境の保全とふれあいの確保
- 028 第2節 安心して暮らせる快適な生活環境の確保
- 034 第3節 まちの魅力や価値を高める取組の推進
- 035 第4節 開発事業等における環境配慮の推進

## 036 北九州市の概要と環境関連施設

## 038 予算



# はじめに

## 北九州市の環境行政のあゆみ

北九州市は、明治34年の官営八幡製鐵所の操業開始以降、四大工業地帯の一つとしてわが国の経済成長に大きく貢献してきましたが、昭和30年代半ばから昭和40年代半ばに大気汚染や水質汚濁などの公害をもたらすことになりました。このような中、市民・事業者・行政などの関係者が一体となって取組を実施したことにより、昭和50年代後半には劇的に改善されることとなりました。

公害を克服した昭和50年代後半から、政策の重点は公害対策から快適な都市環境の創造へと移っていきましたが、他方では、昭和60年代以降、地球温暖化や酸性雨などの地球規模の環境問題がクローズアップされるようになりました。本市では、平成8年に「アジェンダ21」の地域版を策定、平成12年には「北九州市環境基本条例」を制定し、環境保全に関する取組を総合的・計画的に推進していきました。

また、公害を克服する過程で培われた環境保全技術等を、公害問題に苦しんでいる開発途上国に役立ててもらおうと、昭和60年代から他の自治体に先駆けて環境国際協力を実施し、国際的に高い評価を受けることとなりました。さらなる都市間環境協力の推進を図るため、アジア環境都市ネットワークに加え、東アジア経済交流推進機構を創設し、様々な取組を実施しています。

このように環境保全施策に取り組んできた一方で、ものづくりの幅広い裾野を持つ産業技術の集積を活用して、資源循環型社会の構築を図る先駆的な取組も進めてきました。その中でも、平成9年7月に全国第一号として国の承認を受けたエコタウン事業は、「産業振興施策」と「環境保全施策」を統合した独自の地域政策として多くの成果をあげてきました。

現在、地球規模で発生している環境問題の解決に向けて、日々の暮らし方、産業活動や都市づくりのあり方などを見直す必要があります。本市では、平成16年10月、市民・NPO、事業者、行政などのあらゆる主体が協働して、世界の環境首都を目指した長期的な活動ビジョン「環境首都グランド・デザイン」を策定しました。また、「環境首都グランド・デザイン」を具体化する行政計画として、「北九州市環境基本計画」を平成19年10月に策定しました。

本市は、平成20年7月、低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする「環境モデル都市」に国から認定され、平成21年3月には、提案内容を具体化する行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」を策定しました。今までの経験、取組の中で育ててきた「市民の力」を発揮しながら低炭素社会の実現を目指していきます。

## 持続可能な社会の実現に向けて

「環境首都グランド・デザイン」、「北九州市環境基本計画」では、「真の豊かさにあふれるまち」を「ずっとここで暮らしたいと思えるような安らぎと生きがいのあるまち」、すなわち「持続可能な社会であるまち」と定義し、目標としています。本市の豊かな自然と、環境に配慮した多くの産業、環境問題に積極的に取り組んできた技術や歴史、そして市民の力を最大限に発揮しながら、率先して持続可能な社会の実現に努めていきます。

### ●地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化

今日の様々な環境問題を解決するため、市民一人ひとりがより良い環境、より良い地域をつくっていかうとする意識や能力を持ち、行動を起こしていく「市民環境力」を高めていきます。

### ●地域からの地球温暖化対策の推進

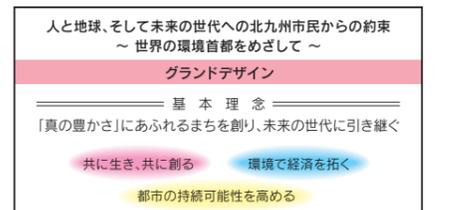
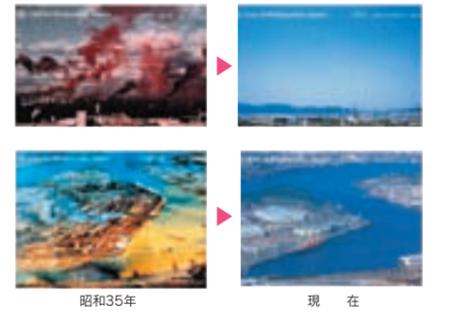
地球温暖化の原因は、企業等による産業活動や私たちの日常生活におけるエネルギー使用などの人為起源の温室効果ガスの増加だと考えられています。地球温暖化の進行をくいとめるため、市民・NPO、事業者、行政が一体となって対策を進めていきます。

### ●循環型の生活様式・産業構造への転換

廃棄物の問題は、私たちの生活や経済活動と切り離せない問題です。社会経済活動やライフスタイルにおいて、環境配慮の視点を付加し、循環型の生活様式・産業構造へと転換していきます。

### ●豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

公害の著しい時代から自然の力を取り戻した本市では、街の中にも市民に親しまれている水辺や緑が多くあります。このような自然環境、歴史や文化、快適で清潔な生活環境をこれからも維持し、さらに優れたものにしていきます。



はじめに